

住所

電話

動 産 り 災 申 告 書

[illegible]

記入例

り災した世帯ごとに提出してください。
ボールペンで記入してください。

別記様式第5号（表）（第23関係）

申告書を提出する日 令和 3 年 4 月 5 日

動 産 り 災 申 告 書 記 載 要 領

大手町消防署長 殿

押印の必要はありません

住 所 千代田区大手町〇丁目×番△号

申告者 職業（職）会社員 電話 03-0000-0000

氏 名 東消 太郎

所有者：持ち主
管理者：管理会社等
占有者：賃借人

動 産 り 災 申 告 書

火災があった日

1	り災年月日	令和3年4月1日		り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者
	り災場所	千代田区大手町 〇丁目×番△号			
2	世帯主	氏 名	続柄	年 齢	性 別
		東消 太郎	本人	45歳	男
		東消 花子	妻	42歳	女
				歳	男・女
				歳	男・女
3	加入している火災保険	契約会社名		契約年月	保険金額（万円）
		練馬〇△損保（株）		平成2年4月	不明
		品名ごとに数量を記入してください。			
4	品 名	数量	り災別	損害見積額 又は 購入時価格（円）	
	(例) ベッド	2	焼損・爆発・その他	200,000(使用 5年)	
	(例) スーツ	8	焼損・爆発・その他	240,000 (使用 年)	
	ノートパソコン	1	焼損・爆発・その他	140,000(使用 2年)	
	こたつ	1	焼損・爆発・その他	15,000(使用 5年)	
	ベッド	1	焼損・爆発・その他	50,000(使用 5年)	
	布団	1式	焼損・爆発・その他	20,000(使用 5年)	
	絨毯	1	焼損・爆発・その他	30,000(使用 5年)	
	衣装ケース	2	焼損・爆発・その他	8,000(使用 5年) 5,000	
	衣類	10	焼損・爆発・その他	10,000 (使用 年)	
			焼損・爆発・その他		

加入している火災保険
全てについて記入して
ください。本人を含め全ての世帯人員に
ついて記入してください。品名ごとに数量を記入し
てください。

分からない場合は「不明」と記入してください。

誤記は二重線で訂正
してください。焼：物が燃えた場合
爆：爆発により壊れた場合
他：消火により濡れたものや
火災の煙により汚れた場合損害見積額又は購入時価格を記入
点線の左枠：使用年数と被害の程度を考慮し、損害額を
見積もり記入してください。
点線の右枠：見積もりができない場合は購入時の価格と
使用年数を記入してください。（使用期間
は1年未満を切り捨て整数で記入）

(1の欄)

り災物件と申告者との関係は、当てはまるものを○で囲んでください。

(3の欄)

- 火災保険の加入が数社ある場合は、全て記入してください。
- 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

(4の欄)

- 品名・数量の欄は、動産の品名ごとに数量を記入してください。
例) 背広3、くつ類30、下着類50、食器類150、本300、化粧品80等
- り災別の欄は、当てはまるものを○で囲んでください。
(1) 焼 損：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融、破損したものなど
(2) 爆 発：爆発により、壊れたものなど
(3) その他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、
運び出すときに壊れたものなど
- 損害見積額又は購入時価格の欄は、り災した物件の使用年数等を考慮して、被害
の程度により損害額を見積もり、点線の左欄に記入してください。
また、損害額が見積もれない場合は、点線の右欄に購入時の価格と（使用 年）
内に使用年数を記入してください。

なお、使用年数は整数とし、1年未満の端数は切り捨てとします。

備 考

- この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- この申告書は、動産のあった建物ごと、世帯ごとに提出してください。
- この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていたら早く発行することができます。
- この申告書で分からないことがありましたら、下記消防署までご連絡ください。

消 防 署

出張所

電 話

別記様式第5号の2 (第23関係)

[illegible]